

パソコンいわくら教室新聞

発売されてしばらく経つ「Windows 8」。今までとどのように異なるのでしょうか？少し簡単にご紹介。

デスクトップ画面が異なる

WINDOWS 8の電源を入れてまず表示されるデスクトップ画面。四角いタイル状のボタンのようなものが並びます。スマートフォンを使用されている方には馴染みのアプリアイコンと同様な扱いになります。

タップまたはクリックでアプリが起動します。まるでタブレットです。かと思えば、従来通りのパソコンとしての使用感でも使うことができます。

要は2つのタイプで使用できるパソコンになっています。あるときはタブレットのように、ある時は従来のデスクトップパソコンのように。

デスクトップ型へは、「デスクトップ」とあるタイルをタップ（クリック）することで切り替わります。



まず困る事!?

一番戸惑うのは、終了する際の「シャットダウン」。メニューが見あたらないこと。デスクトップ画面に切り替えても、タスクバー（画面下の帯部分）は表示されているものの、従来の左下部分には「スタートボタン」はありません。では、どこに？

マウス操作なら画面の右上または右下をポイント、タッチ操作なら画面右外側から内側に向かって「スワイプ（画面をなぞる）」すると、「チャーム」と呼ばれる基本設定をまとめたメニューバーが表示されます。そこに電源ボタンがあるので、そこから操作します。

また、以前のスタートメニューが見当たらないのも、戸惑う一つかも知れません。

メニューはすべてタイル型のボタンになっていますので、そこから各ソフト（アプリ）を立ち上げます。



2つある？

インターネット・エクスプローラー。Webページを閲覧するためのソフトですが、デスクトップ版とアプリ版の2種類存在します。

大きく異なるのは、アプリ版はフラッシュに対応していません。フラッシュは多くの動画再生サービスや、ゲームを動かす仕組みとして使われています。

従来のように動画を見たりゲームをしたりなどは、デスクトップ版を使用する必要があります。

サインインが必要？

8では、スマートフォンと同様に事前にID登録をすることができます。様々なサービスを受けることができます。マイクロソフトアカウントを取得し、そのアカウントでパソコンに「サインイン」します。

マイクロソフト提供の「メール」「オンラインストレージ」「ウィンドウズストア」などが利用できるようになります。もちろん不要な方は従来同様の使い方も可能です。「ウィンドウズストア」は、「Google Play」や「App Store」同様のアプリマーケットです。ウィンドウズストアを利用するためにはマイクロソフトアカウントでのサインインが必要です。

タッチ操作について

8はタッチ操作が主流になっていますが、ディスプレイがそれに対応していなければなりません。ノート型のパソコンはタッチパネルに対応している機種が多いですが、デスクトップ型は対応機種が少なくなっています。

タッチ操作で使いたい場合は、購入時に注意しましょう。

今までのパソコンと若干違いがあるウィンドウズ8ですが、コツをつかめばタッチ操作でも、従来通りにでも使えます。うまく使い分けてより快適なパソコンライフを楽しみましょう。

See you next Month